

木村市長 2期目スタート



3月28日の坂東市長選で再選した木村敏文市長の2期目の市政（任期4年）がスタートしました。

4月20日に行われた初登庁式では、多くの市民のみなさんや市議会議員、市職員に大きな拍手で迎えられ、職員などから花束が贈られました。

その後、市議会議員のご臨席のもと、市の幹部職員などを前に訓示を行いました。



みんながいきるまちづくり

このたび、多くの市民の皆様から多大なるご支援、ご支持をいただきまして、坂東市長として2期目の市政運営を担当させていただくことになりました。この課せられた使命と責任の重さに身が引き締まる思いでございます。

私は坂東市長就任以来、「みんなでつくるまちづくり」を市政運営の基本として、本市の未来を見据えながら、市民の皆様の思いや願いに寄り添う政策の実現に向け、歩みを進めてまいりました。

これまでの主な取り組み

子ども政策

- ・小中学校全教室にエアコンを設置
- ・生子菅小・弓馬田小プールの改修工事
- ※現在は、悪臭改善のため、逆井山小トイレ改修工事を実施中
- ・放課後児童クラブ岩井館、生子館及び中川館を整備

子育て支援

- ・3歳から中学3年生までの第3子以降の子どもの給食費無償化及び助成

- ・新型コロナウイルス感染症に係る支援として、小中学校の全児童・生徒の給食費（昨年6月から8月まで）無償化
- ・県の医療福祉費支給制度対象外の中学生以上の外来受診対象を18歳まで拡大

高齢者・障がい者政策

- ・市外デマンドタクシー「茨城西南医療センター病院」と「きぬ医師会病院」への運行開始
- ・ひとり暮らしの65歳以上の方や75歳以上の方のみの世帯、障がい者の方へ民間タクシー、デマンドタクシー、コミュニティバス、巡回バスで共通利用が可能
- ・な公共交通利用券を交付
- ・高齢者など運転免許証を自主的に返納された65歳以上の方へ新たに公共交通利用券を交付

仕事政策

- ・豊洲市場での地元産品PR活動や、都内において平将門公をテーマに坂東市物産展「将門づくし」を開催
- ・坂東インター工業団地への企業誘致（現在8社が操業開始）

暮らし政策

- ・進捗が遅れていた地籍調査事業体制を強化し、約30年での完了（従来では100年かかる見直し）を目指して大幅な見直しを実施

防災・防犯対策

- ・避難所機能の充実を図るため、備蓄品（感染症対応等を含む）の拡充及び発電機等を配備
- ・防犯灯の電気料金を行政区に代わり市が負担

このほか、岩井地域と猿島地域で異なっていた水道料金の一体化や、さしま窓口センター取扱業務の拡充、単なる経費削減ではなく、内容の充実したイベントの見直しなど、各種政策を着実に進めることができました。これもひとえに市民の皆様のご理解とご協力の賜物であると、心から感謝を申し上げます。現在、国内の新型コロナウイルスの感染者につきましては、63万例を超え、死亡者は1万人を超えております。市では、4月16日から市内医療従事者へのワクチン接種を開始し、高齢者施設